

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社セイユー 大朝工場

(2) 事業所の所在地

〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝5206-26

(3) 業種

1892 プラスチック製品製造業(別掲を除く)

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和4年度を基準年度とし、令和5年度から令和7年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

- ・当社は、環境保全を重要な経営課題の一つと位置付け、環境に配慮した事業活動を展開し、環境負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献する。
- ・特に今日の環境問題において顕著となりつつある地球温暖化は、地球上の自然現象に深刻ともいえる様々な影響を与えていると考えられており、これを防止するため、当社の事業活動はもとより、広く当社の製品を使用する消費者へ配慮し、温室効果ガス排出削減に努める。

2. 方針

- ・(1) 省エネルギー、省資源の推進
- ・(2) 環境にやさしい製品の開発と提供
- ・(3) 廃棄物の排出抑制とリサイクルの推進

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度
二酸化炭素	3,156	2,487

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和4 (2022) 年度)	削減目標		目標年度 (令和7 (2025) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	3,156	1.0	32	3,124
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	3,156	1.0	32	3,124
温室効果ガス みなし排出量		-		3,124
目標設定の考え方	エネルギー消費量：3年で1%の削減を見込む。			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量(t)

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量(kg等)、削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和4 (2022) 年度)			原単位 削減目標 削減率 (d)	目標年度 (令和7 (2025) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	3,156	1,482	2.13	3.8	3,124	1,526	2.05
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	3,156	1,482	2.13	3.8	3,124	1,526	2.05
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-	0.93	4.3	-	-	0.89
目標設定の考え方	1. 生産量：3年で3%の増産を見込む。 2. エネルギー消費量：3年で1%の削減を見込む。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電力使用量の削減	電気使用量を1%削減	1. 省エネ型生産設備への更新 2. 高効率空調設備新設及び更新 3. 冷暖房温度の適正管理 4. 圧縮空気使用設備の定期点検・整備 5. 油圧使用設備の定期点検・整備
2			
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

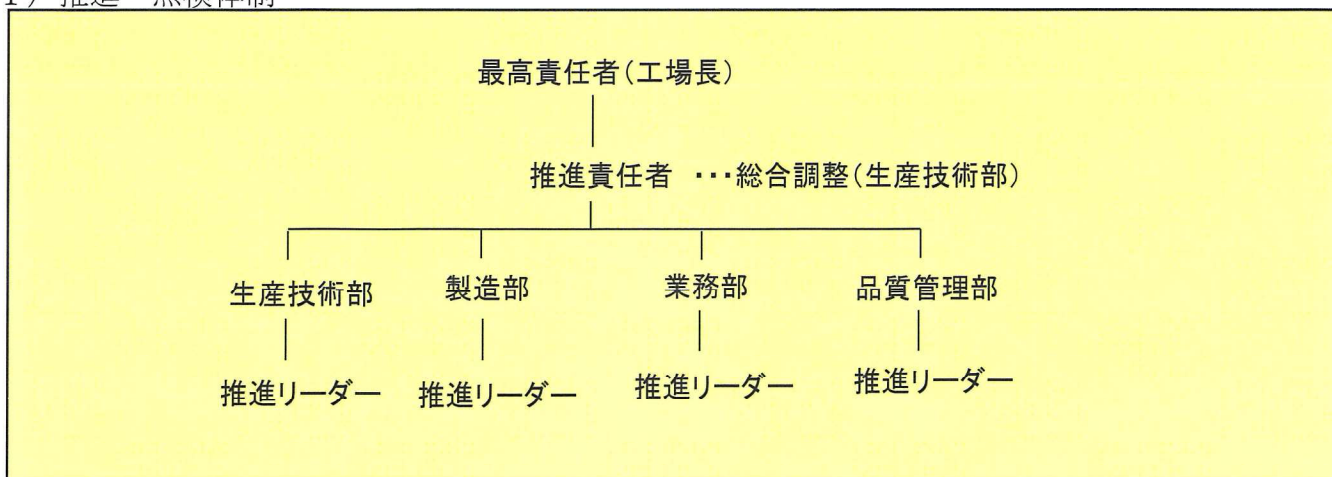
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物削減対策 …実施継続中		1. コピー紙の裏紙利用 2. 生産工程における不良品プラスチックの再利用
2	廃棄物削減対策 …今後実施予定		生産管理工程における各種日報等の モバイル化によるペーパーレス化
3	地球温暖化防止の啓蒙 活動…今後実施予定		温暖化防止に関する社員教育及び家庭への 啓蒙用パンフレットの作成

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

温室効果ガスの排出は、全て エネルギー起源CO₂=買電力 によるものなので、毎月の電力使用量にてエネルギーを把握するためのエネルギー管理表を作成している。

1. 点検について

このエネルギー管理表に毎月の電力使用量に基づく温室効果ガスの排出量の項目を付け加え、各部の抑制の取組み状況と併せ部別に点検し、推進・点検体制にて共有化を図り、PDCAを廻して継続的改善を図る。

2. 評価について

年度末の総合評価については、省エネ法に基づく定期報告を作成するので、これに併せて実施する。

(3) 計画書等の公表

公表の方法については、事務所のエントランスホールに掲示して、外来者が閲覧出来るようにする。

山県郡北広島町大朝5206-26

